

研究主題 小学校社会科における知識・技能の活用を 図る学習活動に関する指導展開例の作成

【研究担当者】 千葉 真

【この研究に対する問い合わせ先】

Tel 0198 - 27 - 2735 Fax 0198 - 27 - 3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

はじめに

小学校社会科において基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力を育成するためには、情報の読み取り、情報の関連付け、考えたことの説明、発表による集団思考などの基礎的・基本的な知識・技能の活用を図る学習活動（以下「活用」と表記）を充実させることが必要です。

しかし、学習定着度状況調査では県の課題として「社会的な思考・判断」の正答率が低いことが報告されています。この要因として、観点を示した調べ学習や根拠に基づく意見の発表、生活に結び付けて考えるふり返しなど、問題解決的な学習の展開過程が吟味されなかったことが考えられます。

このような状況を改善するには、基礎的・基本的な知識・技能を単元指導計画に位置付け、問題解決的な学習過程をととして、これらを意図的・計画的に活用する授業を展開していく必要があります。

そこでこの研究は、小学校社会科における「活用」に関する指導展開例を作成し、提示することをおとして、授業の改善に役立てていくことを目的としました。

とらえ

本研究では、『活用』に関する指導資料」に基づいて小学校社会科における「活用」を次のようにとらえました。

学習活動	具 体 的 な 内 容
読み取り	問題解決に必要な資料を収集・選択するとともに、資料から必要な情報や事実を読み取る。
再構成	読み取ったことを比較・関連付け・総合しながら再構成し、社会的事象の意味、意義を解釈する。
表現・説明	事象の特色や事象間の関連を考え、それらを自分の言葉で表現する。
話し合い	考えたことを伝え合い、話し合いをおとして、互いの考えを深めていく。

位置付け

「活用」を、問題解決的な学習過程に次のように位置付けることで、知識・技能を確実に活用し、思考力・判断力・表現力を育成することを目指しました。

学習過程への基本的な位置付け

学習過程の各段階	単元における「活用」の位置付け	学習過程の各段階	一単元時間における「活用」の位置付け
社会を知る 社会がどうなっているのか	「読み取り」 中心の授業	課題把握	読み取り
社会がわかる なぜ、そうになっているのか	「再構成」 中心の授業	予想	再構成
社会を考える 社会をどうしたらよいか	「表現・説明」 中心の授業	追究	表現・説明
	「話し合い」 中心の授業	交流	話し合い
		まとめ	

具体的な位置付け（単元構想図より）

単元全体における問題解決的 な学習過程	社会を知る				社会を考える	
	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時
社会を知る	長祿の戦い	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	三者の比較	全国統一に大切だったこと
社会がわかる	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	徳川幕府	徳川幕府	徳川幕府
社会を考える	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	徳川幕府	徳川幕府	徳川幕府
課題把握	長祿の戦い	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	三者の比較	全国統一に大切だったこと
予想	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	徳川幕府	徳川幕府	徳川幕府
追究	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	徳川幕府	徳川幕府	徳川幕府
交流	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	徳川幕府	徳川幕府	徳川幕府
まとめ	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	徳川幕府	徳川幕府	徳川幕府

授業実践 1 第6学年「全国統一への動き」

「読み取り」「再構成」「表現・説明」「話し合い」という、四つの「活用」を焦点化して単元の中に位置付け、それぞれ授業実践を行いました。

付箋紙を使用し、人物の会話を想像することで、歴史的事象の意味をとらえました。

(3/6 「豊臣秀吉」)

「再構成」を焦点化した授業

活用する知識

- 検地
 - ・ 全国の田畑を管理
 - ・ 年貢を確実にとる
- 刀狩
 - ・ 農民一揆を防ぐ
 - ・ 身分制度の確立

再構成

習得した知識

豊臣秀吉は、検地や刀狩を行うことで、武士による支配の仕組みを整えた。

農民や役人の気持ちを想像することで、検地と刀狩の関連を考える。

学習活動の様子

検地想像図で役人、農民らが話していることを想像し、付箋紙に書く。

確かに年貢をおさめさせるぞ！

武器を取り上げられていて反抗できない。

検地想像図に付箋紙を貼り付け、お互いの意見を交流し合う。



検地や刀狩で、武士の支配の仕組みを整えたんだ。

児童の反応・成果物

「検地想像図の役人や農民の台詞を予想して書きましょう。」

(農民の台詞)

- なぜ年貢なんてものがあるのだ。
- 検地なんかやめてほしい。
- 刀狩で武器がないから逆らえない。
- あの田んぼは広いからたくさん年貢をとられるなあ。

(役人の台詞)

- 検地はあなた達がいないとできないのです。
- 多く年貢をとるためにきちんと測りなさい。
- 確実に年貢をおさめさせるぞ。

「秀吉は、検地や刀狩でどんな国を作ろうとしたのでしょうか。」

- 一揆や戦争が起きない平和な国。
- 身分制度がしっかりした国。
- 毎年米(年貢)がとれる国。

【児童の感想】習ったことを生かして吹き出しに書き、検地や刀狩のことがよく分かった。

「話し合い」を焦点化した授業

全国統一に大切だったことを考え、それぞれの意見を話し合い、まとめました。

(6/6 「全国統一のまとめ」)

活用する知識

- 戦い
- 仕組み(経済)
- 外国のかかわりの観点で整理した三人の武将の働き

話し合い

習得した知識

三人の武将は、戦いの仕方や政治の仕組みを工夫し、外国との交流を図り、全国統一を目指した。

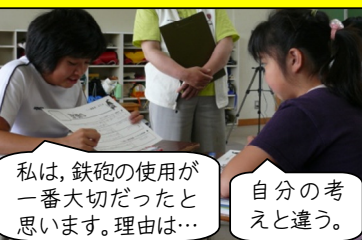
根拠を基にした順位付けから全国統一に大切だったものを判断する。

学習活動の様子

全国統一をするのに大切だったと思うことをランキングでまとめる。

自分が戦国大名だったら、戦いに勝つことを第一に考えるから・・・

話し合いを通して、全国統一に大切だったことは何か考えをまとめる。



私は、鉄砲の使用が一番大切だったと思います。理由は...

自分の考えと違う。

児童の反応・成果物

全国統一に大切だったこと

一	鉄砲の使用	鉄砲は、戦国時代に、初めて使われた武器で、戦いに勝つのに、とても役に立った。
二	刀狩	農民が、武器を持って、暴動を起こさないように、武器を取り上げた。
三	外国との貿易	外国から、金や銀、布などを輸入して、国を豊かにした。

■第一位-鉄砲の使用

当時の最新兵器だから。

■第二位-刀狩

農民に一揆を起こさせない。

■第三位-外国との貿易

様々なものを輸入できる。

「質問や意見を出し合い、何が大切か考えましょう。」

○ 私は、全国統一に大切だと思うことの一位を、鉄砲の使用にしました。理由は、当時の最新兵器で、戦いでも有利だと思うからです。

○ 私の一位は、外国との交流です。外国と仲良くないと、たくさん文化や武器が入ってこないと思います。

○ どれが一番大切だったのだろう。

【教師の感想】交流の場の充実が、単元を振り返って学習のまとめをするのに有効である。

授業実践2 第5学年「自動車工場を訪ねて」

授業実践1から得た成果と課題を基に授業実践2を行い、さらに四つの「活用」について吟味と検討を行いました。

教科書掲載の自動車工場と岩手県の自動車工場とを比較し、立地条件の一般化を図りました。
(4/15 「自動車工場の立地条件」)

活用する技能

10の観点

- ①分布②色③季節
④多少⑤音⑥新旧
⑦自然⑧時⑨比較
⑩交通

で読み取る技能

読み取り

習得した知識

工場の立地条件

交通 道路・港・鉄道
自然 自然災害対策
労働 人口の多い町
土地 広い面積、平地

複数資料から読み取ったことを関連付け、工場立地条件を考える。

学習活動の様子

工場写真から分かったことや気付いたこと、疑問に思ったことを読み取る。



工場の中に港があって、大きな船が泊まっているぞ。

なぜ、荏田町（福岡県）に、自動車工場が建設されたのか考える。



高速道路や港がすぐ近くにあって、自動車を運びやすいからかな。

児童の反応・成果物

T この工場の写真を見て、分かったことや気付いたこと、疑問に思ったことを書きましょう。

C 海が近くにある。
C とても広い。
C 車がたくさん並んでいる。
C 大きい船がある。
C 近くに大きな道路がある。
C たくさんの工場がある。
C 工場の中にも道路がある。
C 校庭いくつ分の広さだろう。

T どうしてこの場所に自動車工場が建てられたのでしょうか。地図帳を使いながら考えましょう。

C 自動車を運ぶための港がある。
C 高速道路が近いからすぐ運べる。
C 北九州市が近いので、たくさんの人が働くことができる。
C 鉄道が通っていて、通勤に便利。
C 山がなくて平らな土地だから、工場を作りやすい。
C 台風や地震の被害が少ない。

【教師の感想】観点を与えたことで、児童は問題解決に必要な情報を数多く読み取っていた。

「読み取り」を焦点化した授業

学習してきたことを生かし、未来の自分に自動車選びのアドバイスをする手紙を書きました。
(15/15 「未来の自分へ」)

活用する知識

単元で習得した知識

- ・自動車の製造過程
- ・自動車の流通
- ・自動車の販売
- ・交通網
- ・未来の自動車開発

表現・説明

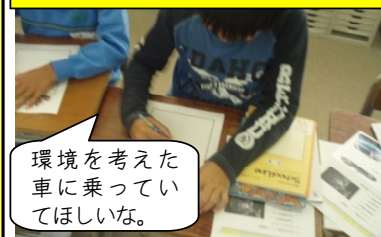
習得した知識

未来の車社会には、環境や福祉、安全について考えられた自動車が必要である。

学習した事を整理し、未来の車社会に対する自分の考えを表現する。

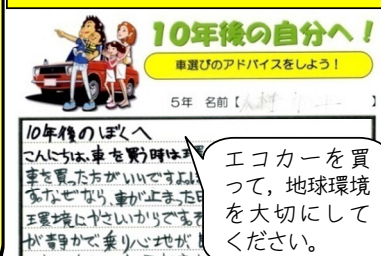
学習活動の様子

10年後の自分に手紙を書き、自動車選びのアドバイスをする。



環境を考えた車に乗ってほしいな。

単元で学習したことを活用し、総合的に車選びのアドバイスをする。



10年後の自分へ！
車選びのアドバイスしよう！
5年 名前【人村 一斗】

10年後の自分へ
こんにちは。車を買った時、
こんな車を買った方が良かったですよ。
なぜなら、車が止まったら、
環境にやさしいからです。
が、書きかて乗り心地が

エコカーを買って、地球環境を大切にしてください。

児童の反応・成果物

10年後の自分への手紙

車を買う時は、環境にやさしい車や安全な車を買った方がいいですよ。なぜなら車が止まったとき、エンジンも止まっていて環境にやさしいからです。(中略)最近では交通事故が減っていますが、10年後にはもっと減ってほしいので、安全な車も買ってください。でも、環境にやさしい車と、安全な車を合わせた車があったら、その車を買ってください。

今はどんな車がはやっていますか。おすすめは「〇〇〇」です。形、大きさ、色などがいいです。(中略)あと、環境が悪ければ、エコカーにしてください。少しお金がかかるかもしれませんが、環境にやさしいです。お年寄りになってもまだ運転したい時は、福祉車両を買ってもいいかもしれません。(中略)最後に、車の部品はいろいろな工場で作られています。作る人は努力や工夫をして作っているの、車を大事に運転してくださいね。

【教師の感想】10年後という設定が児童にとって、学習をまとめる良い動機付けになっていた。

「表現・説明」を焦点化した授業

実践を終えて

成果

- ・「読み取り」にかかわる学習活動では、情報を読み取る観点や整理方法を具体的に提示することにより、課題解決の見通しをもてるようになることが把握できました。
- ・「再構成」にかかわる学習活動では、付箋紙を用いた操作活動や、複数資料を関連付けた追究活動により、社会的事象の意味についてとらえられるようになることが把握できました。
- ・「表現・説明」にかかわる学習活動では、生活経験との関連付けや、手紙形式など表現方法の工夫により、社会的事象の特色や関連について説明できるようになることが把握できました。
- ・「話し合い」にかかわる学習活動では、根拠を基にした意見発表や、話型を用いた質疑応答により、社会的事象について多面的に判断できるようになることが把握できました。

課題

「再構成」にかかわる学習活動で、複数の資料の特色を関連付けながら社会的事象をとらえることが苦手な児童が見られました。今後は、複数資料を扱う授業を意図的・段階的に行い、社会的事象の意味をとらえるための指導方法を検討する必要があります。

おわりに

実践結果の考察から、問題解決的な学習過程に「読み取り」「再構成」「表現・説明」「話し合い」にかかわる学習活動を位置付け指導していくことが授業改善につながるという見通しをもつことができました。今後は、活用を図る授業をどのようにつくっていけばよいのか、授業者がイメージしやすい指導展開例を幅広く作成し、広い活用につなげたいと考えます。

作成した指導展開例（一例）

1 時間 / 6

6年「戦国時代」—長篠の戦い—

こんな活用



- ・10の観点を基に、長篠合戦図からたくさんの情報を読み取ります。
- ・読み取ったことを関連付けながら、疑問を整理したり、答えを予想したりします。

展開

目標 長篠合戦図の読み取りから、戦国の世がどのように統一されていくのか、興味・関心を持つ。

過程	学習活動
課題把握	1 長篠合戦図の概要をとらえる。 ・長篠の場所を地図帳で確認する。 戦いの様子を読み取る。
予想	① 合戦図を見て、分かったことや気づいたこと、疑問に思ったことを書きましょう。 ※読み取りの観点を基にたくさん書かせる。
追究	2 合戦の様子を調べる。 ② どちらの軍が勝ったのでしょうか。またその理由は何でしょう。 ・武将の位置を調べ、誰との戦いが確認する。 ・鉄砲の伝来について調べる。 ・織田、徳川連合軍の戦いの工夫を調べる ※長篠合戦図から読み取った情報を活用して、考えさせる。
交流	3 単元全体の課題をおさえる 信長、秀吉、家康は、戦いの後、どのようなことを考えただしょう。 ・友達同士で意見を交流しあう。
まとめ	単元を貫く課題 戦国の世は、どのように統一されていったのだろう。

知識・技能・概念

知識	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康
知識	長篠の戦い	鉄砲	武田勝頼
技能	観点を基に給資料から様々な情報を読み取る技能		
概念	長篠の戦いで、織田・徳川連合軍が鉄砲を使用し、武田勝頼軍を破った。		

活用1 読み取り

- 1) 源平合戦図、蒙古襲来絵詞等で10 観点に基づく読み取りを想起する。
- 2) 観点に基づいて読み取る技能を活用し、「疑問に思ったこと」を中心に書く。
- 3) 出された考えを整理し、学級全体としての問いを作り、(問題の) 解決を図る。

活用2 再構成

- 1) 合戦図から読み取った情報を活用して調べ学習を行う。
- 2) 旗に描かれている文字から、誰がどの武将か調べる。
- 3) 鉄砲がどのような経路で伝わったのかを調べる。
- 4) 両軍の戦い方の工夫について調べる。
- 5) どちらが勝ったのかを調べる。

活用1

長篠合戦図から、必要な情報を読み取る場面

読み取り

長篠合戦図を見て、分かったことや気づいたこと、疑問に思ったことを書きましょう。

観点を基にして、給資料から情報を読み取る技能									
① 分布	② 色	③ 季節	④ 多少	⑤ 場所					
⑥ 新旧	⑦ 音	⑧ 時間	⑨ 比較	⑩ 勝敗					

⑩勝敗 右と左どちらの軍が勝ったのだろうか？

⑨比較 馬を使っている軍と、鉄砲を使っている軍との戦いだ。

⑧場所 川があったり、地形がデコボコしたりしている。

⑦分布 木の柵がたくさん設置してある。なんのためにあるのだろうか？

活用2

長篠合戦の詳細を読み取る場面

再構成

どちらの軍が勝ったのでしょうか。またその理由は何でしょう。

関連づける 問いを作る 問題を解決する

旗の文字	信長・秀吉・家康・勝頼の場所を、旗の文字を頼りに探してみよう。	旗の文字	旗の文字、鉄砲、土壘、木の柵、小さな川、騎馬隊、武将の位置、騎馬隊、種子島、外国
鉄砲の使用	鉄砲はどのように伝わっていったのか調べてみよう。	鉄砲の使用	鉄砲はどのように伝わっていったのか調べてみよう。
地形・木柵	どちらの軍がどのようにして勝ったのか調べてみよう。	地形・木柵	どちらの軍がどのようにして勝ったのか調べてみよう。

長篠の戦いで、織田・徳川連合軍は鉄砲を使用し、木柵や土壘等、戦い方の工夫を行い、武田勝頼軍を破った。

研究内容の詳細については、当センターWeb ページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。
作成した小学校社会科における知識・技能の活用を図る指導展開例についても、同ページに掲載する予定です。(岩手県立総合教育センターWeb ページ <http://www1.iwate-ed.jp/>)